

平成28年度事業報告書

- 公 1 ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている
 機関や学会に対して研究費等の助成を行う事業

- 公 2 ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

公益目的事業

公 1 ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている機関や学会に対して 研究費等の助成を行う事業

助成事業

研究助成金の交付機関の活動報告

イ. ビタミンB研究委員会

研究協議会開催 4回 ・ シンポジウム

(第444回 6月16日・富山、第445回 8月26～27日・広島、第446回 11月5日・岐阜
第447回 平成29年3月4日・大阪、シンポジウム 平成29年3月3日・大阪)

ロ. ビタミンC研究委員会

研究委員会開催 3回

(第150回 7月30日・東京、第151回10月29日・東京、第152回 平成29年3月2日・東京)

ハ. 脂溶性ビタミン総合研究委員会

研究委員会開催 4回

(第351回 6月16日・富山、第352回 9月16日・東京、第353回 12月2日・静岡
第354回 平成29年3月10日・東京)

ニ. 日本ビタミン学会

○ 学会誌「ビタミン」年11回刊行等

○ 日本ビタミン学会第68回大会開催

会 場 : 富山国際会議場

開 催 日 : 平成28年6月17日(金)～18日(土)

大会委員長 : 榊 利之(富山県立大学教授)

第1日目 (6月17日)

特別講演

(敬称略)

「iPS細胞の医療応用:現況と展望」

戸口田淳也

文化講演

「320年、富山のくすりの変遷」

塩井 保彦

第2日目 (6月18日)

シンポジウム

「創薬・医療・ヘルスケア研究の最前線」

(敬称略)

1. 分子イメージングプローブを用いた生体分子の
挙動の解明と創薬への応用

菊地 和也

2. 動物のゲノム編集とその医学応用

長嶋比呂志

3. アミノ酸メタボロミクス「アミノインデックス」による
疾病リスク評価法の開発

宮野 博

4. 腸内環境を標的とした新たな疾患予防・治療戦略

福田 真嗣

5. 疲労病態のメカニズム解明と健康産業への新展開

片岡 洋祐

6. 脳卒中患者に対する再生医療の現状とその未来

田口 明彦

市民公開フォーラム

「ビタミンと健康」

- | | |
|-----------------------------------------------|-------|
| 1. ビタミンについて | 末木 一夫 |
| 2. 米国におけるビタミンサプリメント
:マルチビタミン・ミネラル剤を中心話題として | 天ヶ瀬晴信 |
| 3. ビタミンE の期待される臨床的機能 | 玉井 浩 |
| 4. 骨折・転倒予防におけるビタミンD の役割 | 田中 清 |
| 5. 葉酸の重要な役割 | 榎原 周平 |
| 6. 富山発, 世界を元気にする天然アスタキサンチン | 山下 栄次 |
| 7. ルテイン・ゼアキサンチンと目の健康 | 橋本 正史 |

第1日目 (6月17日)・第2日目 (6月18日)

一般演題 115題

ホ. 第5回国際コファクター会議&酵素活性分子国際会議2016

会 場 : 黒部市宇奈月国際会館「セレネ」(富山県)

開 催 日 : 平成28年9月4日(日)~8日(木)

大 会 長 : 林 秀行(大阪医科大学教授)

: 浅野 泰久(富山県立大学教授)

平成29年度の募集要項は、平成28年12月、ホームページを通じて公開した

応募期間 : 平成29年1月10日 ~ 2月10日

書類選考 : 審査委員会にて行った

選考結果 : 平成28年度の理事会にて決定し、応募者に通知をした

公 2 ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

広報・活動事業

イ. ビタミン・バイオフィクター関係新情報の提供

日本ビタミン学会大会要旨並びに Journal of Nutritional Science and Vitaminologyを買上げ、企業会員並びに希望者に配布した。

また当協会の広告をビタミン誌に掲載し、ホームページを充実させ、一般会員募集のための広報活動を行った。

その他新情報の提供として、当協会のホームページを通じて 諸講演会、市民公開講座やシンポジウム等の内容を掲載し参加を促した。更に、助成機関の委員会や協議会、シンポジウムなどの活動についての情報を一般に公開し、広くビタミン・バイオフィクターに関する情報提供や知識啓蒙等を図った。

ロ. 市民公開講座開催

平成28年度 日本ビタミン学会市民公開講座開催(共催)

会 場 : 昭和薬科大学記念講堂

開 催 日 : 平成28年11月19日(土)

実行委員長 : 山本 恵子(昭和薬科大学教授)□

テ ー マ : 「ビタミン・サプリメントを賢く使って疾患を予防」

参加者数 : 約300名

(敬称略)

- | | |
|-------------------------------------------|-------|
| 1. 遺伝子対応栄養指導さかど葉酸プロジェクト10年の成果 | 香川 靖雄 |
| 2. サプリメントの利用において注意すべき事項 | 梅垣 敬三 |
| 3. 薬局店頭で経験したビタミンあれこれ | 堀 美智子 |
| 4. ビタミンDの多彩な効用
-- 感染症、アレルギー、癌などの発症予防効果 | 浦島 充佳 |

ハ. 事業委託

研究者間の交流及び最新の研究内容などの公開を図るため、ビタミンB研究委員会に下記のような研究協議会とシンポジウムの開催を委託した。また、その内容に関してホームページなどを通じて一般に周知した。

研究協議会			(敬称略)
第444回	6月16日	富山国際会議場	世話人 浅野 泰久
第445回	8月26～27日	宮島ホテルまこと(広島県)	世話人 加藤 範久
第446回	11月5日	岐阜大学	世話人 早川 享志
第447回	平成29年 3月4日	大阪大学中之島センター	世話人 北吉 正人 (武田薬品工業株式会社)
			世話人 佐藤 賢治 (第一三共株式会社)

シンポジウム

会 場	: 大阪大学中之島センター	
開 催 日	: 平成29年3月3日(金)	
企画・運営	: 柴田 克己(滋賀県立大学教授)	
	: 渡邊 文雄(鳥取大学教授)	
テ ー マ	: 病気を予防するための至適ビタミン摂取量を考える	
参加者数	: 約70名	(敬称略)
1. 健康障害回避に基づいたビタミンB ₁₂ 必要量決定の試み	田中 清	
-ビタミンDからビタミンB ₁₂ を考える-		
2. ビタミンB ₁₂ と葉酸の摂取量についての一考察	渡邊 文雄	
3. ビタミンB ₆ の疾病予防作用と必要量	加藤 範久	
4. 尿中排泄量から至適B群ビタミン量摂取量を考える	柴田 克己	

ニ. 講演事業開催

2016年度(平成28年度)市民公開講演会開催(共催)

会 場	: 滋賀県立大学 交流センター・大ホール	
開 催 日	: 平成28年11月21日(月)	
世 話 人	: 中野 長久 (本協会理事・大阪府立大学名誉教授)	
	: 柴田 克己 (本協会理事・滋賀県立大学教授)	
テ ー マ	: 寿命の限界まで20歳代の体力と美貌を維持する 夢のビタミン・バイオフィクター	
参加者数	: 約120名	(敬称略)

1. 健康寿命を延ばす新しいビタミン様食品成分の機能と身体への効果 中野 長久
2. アロニア含有成分による病気の予防と健康効果 山根 拓也
3. 夢のビタミン・バイオフィクター
～抗老化物質NMN(ニコチンアミドモノヌクレオチド)～ 柴田 克己

ホ. 情報広報

マスコミからのビタミン・バイオフィクターに関する企画、問い合わせなどに正確に対応した。また、一般からのビタミン、バイオフィクター、サプリメントなどに関する質問に対しても迅速に回答した。